

令和5年度地域公共交通確保維持改善事業（フィーダー系統）に関する二次評価の結果について

令和5年度第4回加東市地域公共交通活性化協議会（書面開催）において実施した、令和5年度地域内フィーダー系統確保維持改善事業に係る事業評価について、近畿運輸局により行われた二次評価を以下のとおり報告します。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和6年2月29日  
近畿運輸局

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
加東市地域公共交通活性化協議会	神姫バス(株)	次の4系統を運行 ①西脇(アピカ)～滝野～社 ②西脇(アピカ)～滝野～やしろショッピングパークBio前 ③西脇市役所～滝野～社 ④西脇市役所～滝野～やしろショッピングパークBio前	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合時刻表の作成・配布</li> <li>ダイヤの調整による増便</li> <li>市内一律運賃制度</li> </ul>	A	C	市内一律運賃制度(R4.4～)、新たな市内交通結節点である加東バスターミナルへの乗り入れによる乗り継ぎ強化(R4.10～)など、近年開始した路線バス利用増加施策を引き続き実施するとともに、公共交通ガイドブックや市のHPなどで施策の周知・定着を図る。 事業者との調整により、バスロケーションシステムやICカード利用データを用いて、需要に応じた運行計画の見直しの検討・実施を推進する。	目標・効果について、達成できなかったものの、事業実施の適切性については評価できる。  利用状況及び利用者ニーズの把握・分析等を行いつつ引き続き施策を実施することにより利便性向上を図るとともに、ガイドブックやHP等で周知し利用促進に取り組むことで、持続可能な公共交通が構築されることを期待する。	